

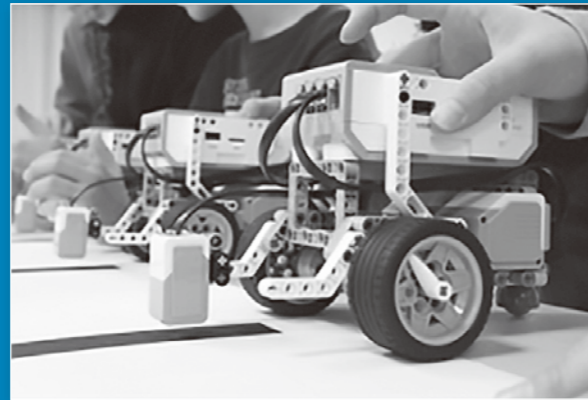
## 長善館学習塾

さまざまな体験や人との関わりを通じて、自立心や助け合う心、問題解決能力を育みます。他の学校の人と仲良くなり、人前で発表する力を高めたい、いろいろなことに挑戦したい人におすすめの取り組みです。今年度は、サバイバルキャンプやビデオ制作、職場体験を実施しました。



## つばくろロボキッズ教室

つばくろロボキッズ教室は、これからの社会を創造していく子どもたちに必要な「プログラミング的思考力（論理的に考える力）」を高め、プログラミングに対する興味関心や学び続ける意欲を高めることをねらいとしています。



## 広報つばめ子ども記者

テーマ決めから取材、編集まですべて子どもたちの手による「広報つばめ子ども版」を発行し、活動を通じて、まちへの関心や郷土愛を育みます。なお、今年度の「広報つばめ子ども版」は今号とあわせて、市内全戸に配布します。

## 英語教育の推進

### ジャック アンド ベティ ● Jack & Betty 教室

### ●英検チャレンジ教室

### ●夏休み英会話教室

### ●英語スピーチコンテスト

### ●親善大使派遣事業

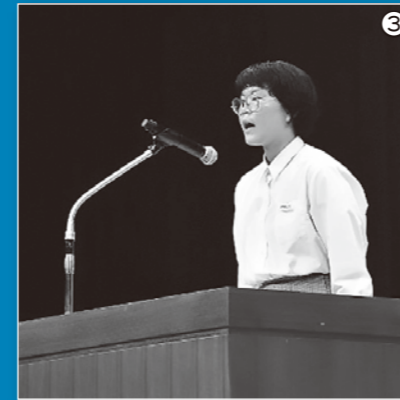
英語でのコミュニケーション活動やプロジェクト活動を通して、世界で活躍するために必要不可欠な力を伸ばします。子どもたちが楽しみながら英語を学ぶ教室や、外国人の指導助手による正しい発音、英語指導助手によるコミュニケーション活動、英語スピーチコンテスト、海外派遣などを実施しています。



① Jack & Betty 教室

② 親善大使派遣事業

③ 英語スピーチコンテスト



## 特色その2

### つばめ長善プロジェクト

市では、子どもたちが新たな可能性を広げることができるよう、「つばめ長善プロジェクト」として、小・中学生向けのさまざまな取り組みを行っています。このプロジェクトは、私塾長善館の教えから、子どもたちの良いところを伸ばして、生きる力を育みたいという思いでスタートしました。これまで多くの子どもたちがプロジェクトに参加しています。

## interview

### 私たちが目指すもの

#### これまでと異なる力

予測困難で正解のない社会を子どもたちは生きていくこととなります。そこで求められる力は、当然これまでとは異なってきます。かつては、早く正確に正解を出す力が求められてきました。しかし、「正解のない社会」に「正解を求める力」ばかり鍛えてもあまり役に立ちません。人工知能によって、人間の仕事の多くが置き換えられると言われていく社会に必要となるのは、「情報をもとに自分の考えをまとめたり、答えのない課題に対して、外国人も含め多様な他者と協働しながら納得解や最適解を見出したりする力」です。情報をもとに自分の考えをまとめるには、「情報を正確に理解する力」が必要です。わたしたちが得る情報の多くは言語（文字）情報であることを踏まえると、情報の正確な理解には「文章を読み解く力」「読解力」がとても大切になってくるのです。

多様な他者との協働には、「コミュニケーション力」が必要です。相手を受容し、適切に主張したり、「折り合い」をつけながら、良好な関係を築くことが大事になってきます。そのためにも、相手の伝えたいことを正確に把握する読解力が大切になってくるのです。

#### 心と学習の必要性

また、「つばめ長善プロジェクト」のさまざまな取り組みは、子どもたちの興味関心や可能性を広げるだけでなく、「つばめっ子かるた」や「燕ジュニア検定」に代表される「心と燕」の学習機会でもあります。

「若年期の地域社会（ふるさと）の学習やつながりが、成人後の幸福度を高める大きな因子である」という調査結果があります。

ふるさと燕で学び育つ子どもたちに、ふるさと燕への愛着や誇り、つながりを感じてもらえるようプロジェクトを進めています。子どもたちのアイデンティティが形成され、幸福度の高い豊かな人生を送ってほしいと強く願っています。

#### 子どもたちの笑顔が日本一輝くために

幸い、燕市は豊かな自然や歴史・文化に恵まれ、世界に誇る産業もあります。そして、何よりも、子どもたちのために献身的な協力を惜しまない大勢の地域の方々と、市民の皆さまがいます。子どもたちを地域ぐるみで、燕市全体で育てようとする姿や思いをさまざまな場面で拝見しています。

これからも、地域の皆様、市民の皆様のご支援をいただきながら、「日本一輝くまち燕」に「日本一子どもたちの笑顔が輝く」よう全力を尽くしてまいります。



こばやしやすなお  
燕市教育長 小林 靖直